

2019  
1/15  
(Tue)

16:30-

ラーニングコモンズ

第12回 共生学コロキウム

動物と共に生きる

牧民の暮らしと変化

— 国家政策とグローバリゼーションを背景に



LES FILMS DE LA DÉCOUVERTE  
and HIMALAYAN FILM HOUSE  
present

# THE SHEPHERDESS OF THE GLACIERS

a film by  
STANZIN DORJAI GYA & CHRISTIANE MORDELET

『ラダック 氷河の羊飼い』 上映

特別講演：スカルマ・ギェルメット（NPO法人ジュレーラダック）  
稲村 哲也（放送大学 特任教授）



Rhône-Alpes

ZDF

PROCIREP  
Société des Producteurs  
de Cinéma et de Télévision

DÉCOUVERTE

arte

## 牧民の暮らしと変化 —国家政策とグローバリゼーションを背景に



2019年1月15日(火) 16:30-

大阪大学人間科学研究科  
北館2階 ラーニングcommons

自然・動物と人との「究極の共生」の姿とも言える牧民の暮らしは、現在どのような状況に置かれているのでしょうか。今回の共生学コロキウムでは、標高 3500m を超えるヒマラヤ高地、インド・ラダック地方で撮影された映画「The Shepherdess of the Glaciers(ラダック 氷河の羊飼い)」を鑑賞し、ラダック出身のスカルマ・ギュルメット氏に高所での人びとの暮らしや近年の変化についてお話を伺います。さらに、長年にわたりアンデス、ヒマラヤ高地等で研究をされてきた文化人類学者の稲村哲也先生もお招きし、牧民たちの暮らしの背景にある国家政策やグローバリゼーションの影響についてコメントいただきます。

牧民の暮らしを通じて、自然環境との共生のための叡知、伝統・文化の継承とその変化、学校教育の影響など、グローバル化がもたらす課題を考えるうえで新たな視点を、多分野の皆さんで共有できれば幸いです。

### ■ プログラム

16:30 - フィルム上映「ラダック 氷河の羊飼い」

17:00 - スカルマ・ギュルメット氏「映像解説とラダックの生活」

17:30 - 稲村哲也特任教授「コメント:牧民の暮らしと変化」

(\*終了後、交流会を予定しています!)

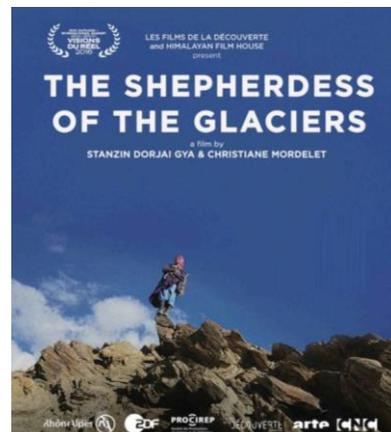
### ■ 講師

スカルマ・ギュルメット

NPO法人ジュレーラダック代表、インド・ラダックのシェイ村出身

稲村 哲也

放送大学特任教授、文化人類学者



### ■ 上映フィルム: 『The Shepherdess of the Glaciers ラダック 氷河の羊飼い』(2016)

ラダック人のスタンジン・ドルジェ監督による、ある羊飼いの女性ツェリン(監督の姉である)の暮らしを描いたドキュメンタリー作品。ラダック奥地の過酷な自然環境の中、たった一人で数百頭の家畜たちと共に生きるツェリンの暮らしの描写は、伝統社会とグローバリゼーション、若者の学校教育と伝統的生業からの乖離など、多くのメッセージを浮かびあがらせる。世界最高峰のアウトアドキュメンタリー映画祭 BANF でグランプリを受賞するなど、数々の映画賞を獲得し、高い評価を得ている作品です。(※当日は、映画を一部紹介として 30 分ほど日本語字幕付きで上映予定です。)

### ■ 参考図書

稲村哲也『遊牧・移牧・定牧—モンゴル・チベット・ヒマラヤ・アンデスのフィールドから』(2014)、ナカニシヤ出版  
石井祥子、稲村哲也、鈴木康弘『草原と都市: 変わりゆくモンゴル』(2015)、風媒社

Norberg-Hodge, H. (2009). Ancient futures: Lessons from Ladakh for a globalizing world. Sierra Club Books.

■ 問い合わせ ⇒ 共生学系助教・木村友美 yumi621@hus.osaka-u.ac.jp